



身につけたい「感謝する習慣」「相手の立場や気持ちになって考える習慣」

鷺宮小学校長 江森 浩

カレンダーもいよいよ最後の一枚を残すのみとなりました。11月は、「PTAバザー」「鷺の子まつり（感謝の会）」「持久走大会」などの行事がありました。ご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。子どもたちは、それらの行事を通して、朝会で話をした「思いやり算」（「たす」…たすけあう、「ひく」…ひきうける、「かける」…声をかける、「わる」…いたわる、わけあう）を体験的に学ぶことができたように思います。

それらと併せて、子どもたちには、「感謝」の気持ちを常にもって生活してほしいと思っています。「PTAバザー」や「鷺の子まつり」を楽しむことができたのも、「持久走大会」で安全に走ることができたのも、PTA役員さんをはじめとする保護者の方々や地域の方々のおかげです。10月には学校応援団が新たに発足し、授業の補助や登下校の見守りなどでもお世話になっています。私たちの生活は、周りの多くの方々の支えによって成り立っています。周りの方々に感謝し、それを「ありがとう」と表現して信頼関係を築けるかどうかによって、その後の人間関係が変わってきます。日常生活の中に小さな喜びや楽しみを見だし、感謝する心で日々過ごす大人の姿勢が、子供により影響を及ぼします。学校と家庭が協力して、感謝する気持ちとそれを言葉や態度で表現する「感謝する習慣」をつくっていければと考えています。

さて、11月は「いじめ撲滅強調月間」、12月4日～10日までは「人権週間」です。冒頭でも「思いやり算」の話をしましたが、今年度は、目指す児童像の一つとして「思いやりのある子」を掲げ、「いじめは絶対に許しません。」ということをお願いしてきました。「思いやり」とは、「相手の立場に立って考え、相手の気持ちを大事にすること」です。相手の気持ち、特に弱い立場にある人々の気持ちを思いやれる感性は、幼少期の体験と、保護者の感じ方や考え方に大いに左右されると言われています。また、社会的弱者に対する心配りがない保護者に育てられた子どもは、相手の立場に立って考えることが難しく、人を傷つける側に立ってしまうこともあるようです。いじめに関連するニュースが後を絶ちませんが、「相手の立場や気持ちになって考える習慣」をぜひ今の子どもたちに身につけさせていきたいものです。保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

12月21日に第2学期終業式が行われ、22日から冬休みを迎えます。安全に、そして健康に過ごしていただき、1月8日には全員が元気に登校できるようにご協力をよろしくお願いいたします。よい年をお迎えください。

《第4回学校運営協議会の報告（11月10日開催）》

○第1回学校応援団会議の報告

○検討事項

- ・金管バンド「ファンタジア」の今後の運営について
- ・敷地内禁煙の認証制度について
- ・漢字検定の導入について

※ これらにつきましては、さらに検討を重ね、後日報告させていただきます。

